

# 令和2年度事業計画

晴見保育園

昭和41(1966)年7月認可開設
昭和60(1985)年4月改築(建替え)
平成29(2017)年5月外壁塗装
定員80名

## 1 基本方針

- (1) 園児の安全と健康を保持し、家庭的な保育環境の中で粘り強く心豊かな子に育てる。
- (2) 地域子育て支援の充実及び定着
- (3) 指導体制強化のため保育力をアップさせるとともに、情報の共有化を図る。
- (4) 予算の効率的かつ適正な執行に努めるとともに、改築に向けての資金積立を計画的に行う。

## 2 重点目標

- (1) 保育実施要領を基にした保育内容の充実
- (2) 地域子育て家庭支援の充実と定着
- (3) 新人職員育成のための職員協力体制の強化
- (4) 保育環境の計画的な整備

## 3 実施計画

### (1) 保育内容

- ア 保育実施要領を基に、発達を配慮した段階的な保育の充実を図る。
- イ 近隣の高、大学等の協力を得て、自然に対する興味関心を更に高めていく。
- ウ 食育指導の一環として、自分で作物を栽培、収穫を行うことにより、育て、食べることの喜びを体験させる。また、適宜調理指導を行い、自分で調理することの楽しさを体験させる。
- エ 晴見保育文庫(保護者への図書貸出)を活用し、父母による読み聞かせを通して親子で本に親しむ習慣を作る。
- オ 園外保育を通して四季の移り変わりを体験させ、製作、絵の作成等につなげて豊かな情操を育む。
- カ 隣接する高齢者施設のお年寄りとの交流を通して、人を思いやる気持ちを育てる。

### (2) 地域子育て家庭支援事業

- ア 担当職員が一意団結して、円滑な運営に当たるよう努める。
- イ 育児講座を職員研修の場として公開し、地域子育て家庭支援事業の認識を深める。

ウ 保護者が園児お迎え時に実施している「保育状況面談」において、現在は当日の保育状況を写真に撮り、カメラの小さな画面で見せながら説明しているが、これを大きな画面のパソコン等で行うことにより、より具体的な保育状況を理解してもらう工夫を始める。

### (3) 保健衛生

ア 感染症予防のため、幼児クラスに加湿器を整備する。

イ 乳児クラスの衣服の着脱を椅子に座らせて行う等の方法の徹底や、排泄が自立していない0～2歳児の夏は、屋上での水遊びで工夫対応する。

ウ エピペン、救急救命、吐物処理等の技術を確実に身に付ける。

エ ヒヤリハットを活かして事故防止に努める。

### (4) 防災と安全対策

ア 様々な場面を想定しての定期的な訓練を実施するほか、専門的な機関と連携しての訓練や法人全体の総合防災訓練に参加する。

イ クラスごとに定期的な安全点検を行う。

ウ 不審者への対応訓練を引き続き行う。

### (5) 指導体制

ア 各種研修会、他園との交流会、外部専門指導者を招いて保育実践研修を実施し保育力のスキルアップを図る。

イ 専門リーダーの業務を明確にし、「職制階層」ごとの果たすべき役割についての認識を深めさせ組織力の向上を図る。

ウ 産休、育休、短時間就労の職員が増えているが、安心して復帰し負担軽減した勤務ができるよう「フリー配置」を設けるとともに、そのための職員増員を考慮する。

エ 保育士の事務省力化及び事務時間の確保を図る。

オ 新人職員育成を行う中で、職員の協力体制を強化し、自らの保育の振り返りを行い、保育力の確実な向上を目指す。

### (6) 環境整備

ア 養護との境界線であるブロック塀が、経年劣化により倒壊の恐れがあるため、養護と協力して修繕を行う。

イ 各クラス内等の壁紙が劣化しているため、壁紙の張替を行い、保育環境の改善を図る。